

英語科 学習指導案

日 時：

展開学級：

場 所：

授 業 者：

1 単元名 PROGRAM 4 “High-Tech Nature” SUNSHINE ENGLISH COURSE 2

2 単元の目標

- (1) 比較級、最上級などの意味や働きを理解している。また、それをもとに身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。

【知識及び技能】

- (2) 興味のあるテーマについて調査した結果を、学習した簡単な語句や文を用いて英語で表現できる。また、自分の考えを交えながら相手に伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- (3) 興味のあるテーマについて調査した結果を、学習した簡単な語句や文を用いて英語で表現しようとする。また、自分の考えを交えながら相手に伝え合おうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

本単元ではバイオミミクリー（Biomimicry）が題材となっており、身の回りの様々な物が自然界の生物が有する構造や機能を模倣して生まれていることを紹介している。本文ではヨーグルトの蓋や新幹線の先端部分などの例が挙げられている。中でも Think 1 で話題となっているハスの葉において、ハス(大賀ハス)は千葉市の花として生徒にも馴染みがあり、本単元を通してハスの葉がもつ機能を知る中で、住んでいる地域に興味をもち、良さに気付くことやそれらを発信していくことの大切さについても考える機会とさせたい。

本単元で取り扱われている言語材料は、比較級・最上級・as～as であり、本文ではものの大きさや速さを比べる表現が使われている。そこで、生徒にとって親しみや興味のあるテーマについてグループで調査を行い、その結果から分かったことを、比較級・最上級・as～as の表現を活用しながら書いたり話したりする活動を行う。指導においては、学習指導要領外国語 2 節英語、(5) 書くことイ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」に重点を置く。まず文法の指導では、これまでに学んだ形容詞・副詞を含む文と比較級・最上級の文を比べながら、活用の規則性やルールに気付かせたい。そして演習では比較級・最上級の基礎的な文から、のちの活動で応用できる文まで幅広く扱い、必要に応じて間違いのフィードバックを行う。最終段階では、与えられたテーマについて調査を行い、その結果をクラスの友達に紹介するという場面を設定する。本時では、友達への紹介に向けて、本単元で学習する表現を使いながら、まとまりのある文章を書く活動を行う。

<CAN-DO リスト形式による学習到達目標との関わり>

本校 CAN-DO リストの2年「書くこと」では「身近な話題（自己紹介、家族、学校生活、日常生活など）について、まとまりのある英文を書くことができる。」を設定した。この目標に基づき、今回は生徒の興味があるテーマについて調べた結果を、単元で学習する言語材料を用いた英文で書けるようにするため、段階的な指導を行う。また、接続詞の効果的な使用や、導入や補足の追加等の工夫により、相手に伝えることを意識したまとまりのある文章が書けるよう指導していきたい。

4 生徒の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較級、最上級などの意味や働きを理解している。〔知識〕 ②比較級、最上級、as～asの意味や働きへの理解をもとに、身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。〔技能〕	① 興味のあるテーマについて調査した結果をクラスの友達に紹介するために、学習した簡単な語句や文を用いて英語で表現している。 ②自分の考えを交えながら相手に伝えている。	興味のあるテーマについて調査した結果を、学習した簡単な語句や文を用いて英語で表現し、自分の考えを交えながら相手に伝えようとしている。

6 指導と評価の計画(11時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	知	思	主	評価方法
1	○絵や写真を用いて比較級を導入する。 ○比較級の基本文や、形容詞・副詞の活用の規則性を理解する。 ○基本文の音読や、演習問題で表現に慣れる。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、指導に生かすことは毎時間行う。			
2	○絵や写真を用いて最上級を導入する。 ○最上級の基本文や、形容詞・副詞の活用の規則性を理解する。 ○基本文の音読や、演習問題で表現に慣れる。				
3	○比較級・最上級それぞれのポイントをワークシートで確認する。 ○比較級・最上級を用いて簡単なインタビューを行う。 ○インタビューの結果を学習した簡単な語句や文を用いて表現する。				
4	○絵や写真を用いて(not)…as～asを導入する。 ○(not)…as～asの基本文やルールを理解する。 ○基本文の音読や、演習問題で表現に慣れる。				
5	○グループでテーマを一つ決め、調査する。 ○調査で得られた結果について、ワークシートにメモをとる。 ○調査で得られた結果を表やグラフにまとめる。(ギガタブ)				
6 (本時)	○簡単な復習を行い、これまでの学習内容が定着しているかの確認とポイントの振り返りを行う。 ○調査で得た結果や自分の考えについて、学習した簡単な語句や文を用いてまとめる。		○	○	ワークシート

7	○前時でまとめた内容をグラフで示しながら発表し、友達と共有する。 ○活動の振り返りを行う。		○	○	活動の観察 ワークシート
8～10	○繰り返し音声を聞き（動画）、新出語句や重要表現を確認する。 ○本文の内容を確認する。 ○本文を音読する。 ○絵や写真を示しながら、本文の内容をほかの人に英語で伝える。 (Retell)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、指導に生かすことは毎時間行う。			
11	Review ○単元のまとめプリントを解く。				
後日	単元テスト（リスニング問題を含む）	○	○		

7 本時の指導

（1）本時の目標

①興味のあるテーマについて調査した結果を、比較級・最上級の表現を用いて英語で書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

②興味のあるテーマについて調査した結果を、比較級・最上級の表現を用いて英語で書こうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

（2）本時の展開

過程と時配(分)		学習内容と生徒の活動	指導上の留意点	評価
始業前	－2	○ <u>ウォーミングアップ</u> ・ I Was Born To Love You を聴く（歌う）。	・ 曲を流し授業に向けての雰囲気づくりをする。	
導入	2	○ <u>始業のあいさつ</u> ・ 英語であいさつをする。	・ 教師が笑顔でリラックスした雰囲気をつくる。	
復習	15	○ <u>既習表現の復習</u> ・ 3分間で3つの質問に答え、時間になったらワークシートを裏返す。 ・ 比較級・最上級・as～as のポイントを全体で確認する。 ・ 隣の席の人とワークシートを交換する。 ・ ポイントと教科書 p138 を参考に、友達の答えを確認する。 ※正しい答えは記入しない。 ・ ワークシートを返却し、間違えた箇所をもう一度考える。 ・ 自分で解決しないときは先生や近	・ 比較級・最上級・as～as のポイントを板書し、全体で確認させる。 ・ 教科書 p138 を参考にしよう伝える。 ・ 机間指導を行う。	

展開	2	くの友達に相談する。		
		○ 本時の活動内容と目標の確認 ・ 本時の活動内容と目標を確認する。 ・ 目標を評価シートに記入する。	・ 今日の活動内容と目標を示す。 ・ 目標を評価シートに記入させる。	
		Goal 調査の結果について、学習した表現を使いながら、まとまりのある英語で説明する文を書こう。		
		6	○ 調査の結果について、比較級・最上級・as～as を用いて書く 【個人】 ・ 調査で分かった事実について最低2文書く。 ・ 自分の考えを書く。(早く終わった生徒)	・ 同じ表現だけではなく、比較級・最上級・as～as を使うように伝える。 ・ 復習で扱った3文を参考にするように助言する。(スローラーナー)
終末	20	○ 発表(次時)の準備 ・ ワークシートでルーブリックを確認する。 (1)まとまりのある文にするためのポイントについて、TVモニターで2つの例を比較して確認する。 【一斉/6分】	・ ワークシートでルーブリックを示し、具体的な目標をもたせながら活動に取り組ませる。 ・ TVモニターに2つの例を示し、違いに気付かせるとともに、より良い文章にするための表現にも触れる。 ※下枠参照	
		導入： I'm going to talk about～. / I researched about～. I found ～ things. 展開： First,～ / Second,～ / ～but… / ～and… / However, 考え・まとめ： I think that～. / I (don't) agree with ～.		
		(2)自分が書いた英文を、グループの友達に口頭で発表する。 ※プリントは見せ合わない。 【グループ/7分】 (3)文章の順序(導入→展開→まとめ)に沿って、書いた英文を順序立ててまとめ、ワークシートに記入する。 【個人/7分】	・ 友達の発表で自分が参考にしたい表現などがあれば、ワークシートにメモをさせる。	
		5	○ 本時のまとめ ・ 本時のまとめを評価シートに記入する。	・ 本時のまとめを評価シートに記入させる。

(3) 本時の評価

①興味のあるテーマについて調査した結果を、比較級・最上級の表現を用いて英語で書くことができたか。

【思考、判断、表現】

②興味のあるテーマについて調査した結果を、比較級・最上級の表現を用いて英語で書こうとしたか。

【主体的に学習に取り組む態度】

本時の評価基準

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	○調査で得られた結果について、導入や説明を追加したり、接続詞を効果的に用いたりして、まとまりのある文章で書いている。 ○自分の意見や感想を書いている。 ○データや説得力のある情報を加えて伝えている。	○友達の意見を積極的に取り入れることや、データや説得力のある情報を加えるなどして、相手に伝えることを意識した、よりよい文章を書こうとしている。 ○自分の意見や感想を書こうとしている。
B	○あらかじめ示された例文や語句を用いて、ある程度まとまりのある文章で書いている。	○あらかじめ示された例文や語句の中から、自分の伝えたいことを書くために必要な表現を自ら選び、ある程度まとまりのある文章で書こうとしている。
C	Bに達していない。	